

※  
東  
9/7(水)

# リンゴオーナー トマト収穫体験

中央大OB会来町

首都圏を中心とした中央  
大学卒業生でつくる「白門  
りんごの会」(松木茂夫会  
長)が1日、定期的に訪れ  
ている三戸町でハウスト



トマトの収穫を終え、ジュースを飲んで喉を潤す会員たち

マトの収穫体験を行い、生  
産者との触れ合いを深め  
た。

同会は東日本大震災の復  
興支援を目的として6年  
前、梅内りんご組合とオ  
ナー制度契約を締結。1人  
1万円を出資することで、  
収穫された蜜いっぱいの三  
戸りんごが年に2度送られ  
る仕組みとなっている。

今回はリンゴの収穫時期  
より1カ月以上早い真夏の  
訪問となったため、トマト  
の収穫に変更。会員24人は  
船場敏前組合長が所有する  
梅内地区の園地を訪れた。  
朝から30度を超える猛烈な  
暑さの中、汗だくになって  
収穫に挑戦。作業を終える  
と、特製のトマトジュース  
を飲んで喉を潤した。

近年では同会が橋渡しす  
る形で、町と大学理工学研  
究所が協定を結び、高齢化  
が進む農家の負担を軽減す  
る「アシストスーツ」の普  
及に向けた研究が進められ  
ている。松木会長は「大学  
と町との連携がさらに強ま  
り、発展することを期待し  
たい」と語った。

この後、一行は八戸市に  
移動して八戸三社大祭を見  
学。本県の夜を満喫した。

(松田啓志)

デリー東北 8/4(日)

### 八戸三社大祭 お通りを観覧

中央大OBで組織  
「白門りんごの会」

中央大OBでつくる「白門りんごの会」(東京、松木茂夫会長)は1日、同大の八戸地域の同窓会「南部白門会」との交流事業の一環で、八戸三社大祭のお通りを観覧した。

白門りんごの会は、三戸町の梅内りんご組合とオーナー制度契約を結び、毎年リンゴの収穫体験に訪れるなど、青森県

## 三 八 食べて、買って三戸満喫 中央大OB、農家と交流

### 三 戸

中央大OBでつくる「白門りんごの会」(松木茂夫会長)の一行が1日、三戸町を訪れ、新鮮な農産物を味わい、地元農家らと交流を深めた。

7年目となった園地訪問には、会員125人のうち、関東在住のOBを中心に24人が参加。同組合員のヒールハウスでトマトの収穫を体験したほか、町役場関係者を交えた昼食会や、産地直売所での買い物も楽しんだ。



新鮮な農産物の買い物を楽しむ参加者

同会は、東日本大震災の復興支援の一環として、2013年度から町内の梅内りんご組合とリンゴのオーナー制度の契約を結ぶ。生産を委託し、収穫期に取れたての三戸産リンゴを送られている。

との関わりが深い。三八のメンバー24人が来八し地域の文化により理解を深めようと、今回は同会

一行はこの日、八戸市

一行はこの日、八戸市

十三日町の旧第一ワシントンホテル前に設けられた棧敷席で祭りを観覧。豪華な山車をスマートフォンで写真に収めたり、神社行列が繰り広げる時代絵巻に盛んに拍手を送ったりしていた。

初めて三社大祭を見学したという松木会長は、「山車は迫力があるし、住民の手作りだというのが素晴らしい。三社大祭自体は以前から知っていたが、祭りの良さを肌で感じる事ができた」と話した。



八戸三社大祭を見学する白門りんごの会のメンバーら

(福田駿)